



[野菜部門]

[農業研究所ホームページへ](#)

7. 県内に発生しているアミスター20フロアブル耐性アスパラガス褐斑病菌に有効な薬剤

[要約]

岡山県内の露地栽培のアスパラガス産地では、アミスター20フロアブルに対する耐性菌が発生しており、耐性菌にはベルコート水和剤、ダコニール1000、コサイド3000の防除効果が高い。特にベルコート水和剤、ダコニール1000は同程度の予防効果が維持される。

[担当] 岡山県農林水産総合センター農業研究所 病虫研究室

[連絡先] 電話 086-955-0543

[分類] 情報

[背景・ねらい]

県内のアスパラガス産地は露地栽培が主体であり、褐斑病が大きな生産阻害要因となっている。本病に対しては薬剤による体系防除が行われているが、薬剤耐性菌の発生による防除効果の低下が疑われている。そこで、アミスター20フロアブルに対する感受性を明らかにするとともに、耐性菌に有効な薬剤を選抜し、効率的な防除対策に資する。

[成果の内容・特徴]

1. 県内の代表的な露地栽培アスパラガス産地において採集し、調査した褐斑病菌株の97%がアミスター20フロアブルに対する耐性菌であり、防除効果が低下している（表1）。また、調査した県内圃場の92%で耐性菌が発生していた。
2. アミスター20フロアブルの耐性菌に対して、ベルコート水和剤、ダコニール1000の防除効果が高く、次いでコサイド3000の防除効果が高い（図1）。ラリー水和剤及びファンタジスタ顆粒水和剤についてもやや低い防除効果が認められる。
3. ベルコート水和剤、ダコニール1000は同程度の予防効果が維持される（図2）。

[成果の活用面・留意点]

1. 有効薬剤は発病前の予防的な散布を基本とし、株全体にむらなく十分付着するよう、丁寧に散布する。
2. アミスター20フロアブルの防除効果が低い圃場では、他系統の薬剤による褐斑病防除を行う。
3. ラリー水和剤、ファンタジスタ顆粒水和剤についても耐性菌発生のリスクが中～高いとされており、耐性菌の発達を防止するため、同一系統の薬剤の連用を避ける。
4. ベルコート水和剤の使用時期は、収穫7日前までのため、散布時期に留意する。
5. コサイド3000散布する場合は、薬害防止のためクレフノンを加用し、高温、多湿時の散布は控える。なお、クレフノンの加用は収穫物に汚れが生じるおそれがある。



[具体的データ]

表1 県内の露地栽培圃場で採集したアスパラガス褐斑病菌のアミスター20フロアブルに対する耐性菌株の割合²

地域	調査圃場数 (菌株数)	耐性菌確認圃場数 (菌株数)	耐性菌確認圃場割合 (%) 耐性菌割合 (%)
県北産地A	5 (41)	5 (41)	100 (100)
県北産地B	7 (47)	7 (46)	100 (98)
県南産地A	1 (2)	0 (0)	0 (0)
計	13 (90)	12 (87)	92 (97)

² 培地検定での最小生育阻止濃度（MIC）が1,000ppmを超える菌株を耐性菌と判定した。

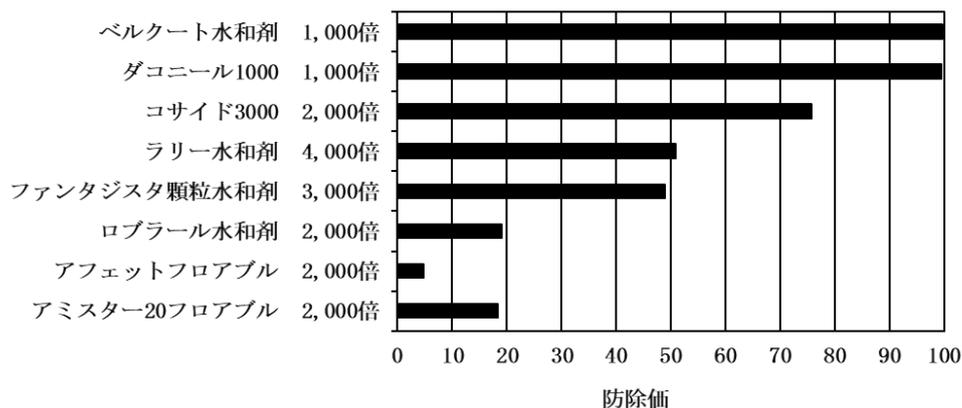


図1 アミスター20フロアブル耐性アスパラガス褐斑病菌に対する各種薬剤の防除効果

注1) 供試菌株は耐性菌株「k②9-1」

注2) ポット苗により予防効果を確認し、試験は3回行った

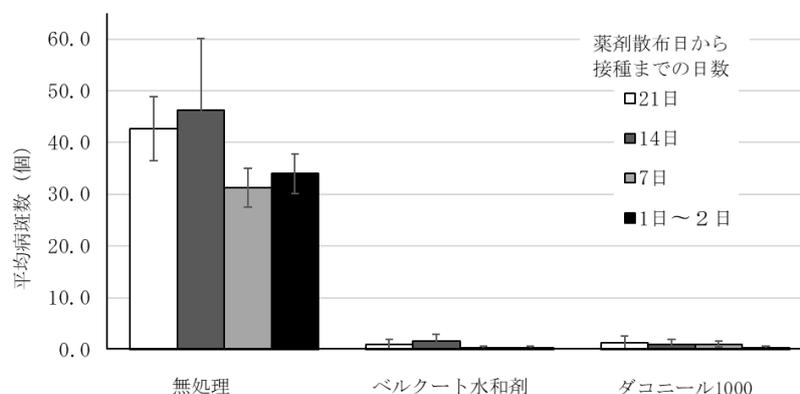


図2 アミスター20フロアブル耐性アスパラガス褐斑病菌に対する各種薬剤の予防効果の残効性

注1) エラーバーは標準誤差を示す

注2) 予防効果の残効期間を1～2、7、14、21日とし、ポット試験によって判定した

注3) 試験は3回行った。

[その他]

研究課題名：アスパラガス斑点性病害の発生実態の解明と防除対策の確立

予算区分・研究期間：交付金（難防除病害虫防除技術対策事業費）・令和4年度

研究担当者：矢尾幸世

関連情報等：1) 試験研究主要成果、[令4\(75-76\)](#)